



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3036 U R L <https://wwwalconix.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 手代木 洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CSO (氏名) 鈴木 匠 TEL 03-3596-7400
配当支払開始予定日 一
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	157,831	7.5	7,456	37.5	6,864	28.2	4,945	38.4
	146,827	12.2	5,424	27.2	5,356	19.7	3,574	27.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,905百万円 (-84.0%) 2025年3月期第3四半期 3,209百万円 (+△53.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 164.90	円 銭 164.79
2025年3月期第3四半期	118.37	-

(注) 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 211,114	百万円 73,804	% 34.7
2025年3月期	196,634	70,312	35.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 73,159百万円 2025年3月期 69,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 32.00	円 銭 -	円 銭 42.00	円 銭 74.00	
2026年3月期	-	42.00	-	-	-	
2026年3月期(予想)				42.00	84.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 215,000	% 9.1	百万円 8,800	% 27.2	百万円 8,200	% 8.9	百万円 5,400	% 12.4	円 銭 180.05

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年3月期における「1株当たり当期純利益」については、新株予約権の行使による株式数の増加、および譲渡制限付株式報酬としての新株発行による株式数の増加の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社ナノシーズ

除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	31,107,700株	2025年3月期	31,070,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,064,202株	2025年3月期	1,137,501株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	29,992,024株	2025年3月期3Q	30,193,311株

(注) 当社は「株式給付信託（B BT）」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託（B BT）」及び「従業員向け株式交付信託」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界情勢は、米国関税政策の変動、中国当局によるレアメタル・レアアースを始めとする諸品目の輸出管理強化、円金利上昇や円安傾向加速などが当社グループの経営に影響を及ぼす要因となりました。

当社グループとして関与の深い業界・市場においては、A I 関連需要に牽引された半導体世界販売は好調に推移しましたが、日本市場における販売は7月以降6カ月連続で前年を下回りました。2025年4月から11月までの日本メーカーの国内外乗用車生産台数は、前年同期比微減、アルミ圧延品の国内出荷は4月から11月で前年同期比1.1%減、伸銅品の国内生産量は同期間で3.3%増となりました。非鉄金属相場は、U S ドル建てでは第3四半期までの平均価格において、第3四半期に上昇が顕著であったアルミ・銅は前年同期を上回った一方、ニッケルは前年同期を下回りました。

このような環境下で、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上は、アルミ銅地金価格の上昇、電池関連やレアメタル関連取引が寄与して電子機能材事業、アルミ銅事業、装置材料事業、金属加工事業の4セグメントすべてで前年同期比増となりました。同期間ににおけるセグメント利益は、半導体実装装置用金属加工品や電池用プレス部品関連取引などが寄与して電子機能材事業、装置材料事業、金属加工事業の3セグメントで前年同期比増となつた一方、アルミ銅事業は地金・スクラップの収益率低下、自動車・家電分野での需要低迷などが影響して前年同期比減となりましたが、全体では前年同期比増となりました。

当第3四半期連結累計期間における主な経営成績は次のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 増減額 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)
売上高	146,827	157,831	11,004	7.5
営業利益	5,424	7,456	2,032	37.5
経常利益	5,356	6,864	1,508	28.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,574	4,945	1,371	38.4

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

		前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 増減額 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)
商社流通 －電子機能材	売上高	25,158	32,553	7,395	29.4
	セグメント利益	1,662	2,432	769	46.3
商社流通 －アルミ銅	売上高	63,134	65,851	2,717	4.3
	セグメント利益 又は損失(△)	615	△207	△823	—
製造 －装置材料	売上高	34,742	35,205	462	1.3
	セグメント利益	732	1,037	304	41.6
製造 －金属加工	売上高	26,956	30,032	3,075	11.4
	セグメント利益	2,350	3,577	1,226	52.2

・商社流通－電子機能材事業

本セグメントの売上高は、レアメタル、合金材料取引や電池関連取引が寄与し、前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、売上に貢献した取引に加えニッケル原料取引の収益率回復も寄与し、前年同期比増となりました。

・商社流通－アルミ銅事業

本セグメントの売上高は、地金相場の上昇に加え銅スクラップの需要回復もあり前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、回復傾向にあるものの収益率において前年同期を下回った地金・スクラップ取引や、自動車及び家電関連取引の需要低迷の影響で、前年同期比減となりました。

・製造一装置材料事業

本セグメントの売上高は、検査装置取引、北米市場の電気設備部品取引が寄与し、前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、売上に寄与した取引により前年同期比増となりました。

・製造一金属加工事業

本セグメントの売上高は、半導体実装装置用金属加工品、電池用プレス部品関連、金属切削加工品取引が寄与し、前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、売上に寄与した取引により前年同期比増となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①財政状態

a. 流動資産

流動資産は155,325百万円であり、前連結会計年度末比10,951百万円の増加となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加3,225百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の増加5,659百万円、及び棚卸資産の増加2,094百万円であります。

b. 固定資産

固定資産は55,788百万円であり、前連結会計年度末比3,528百万円の増加となりました。主な内訳は、有形固定資産の増加842百万円、及び投資その他の資産の増加2,978百万円であります。

c. 流動負債

流動負債は116,785百万円であり、前連結会計年度末比13,588百万円の増加となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金・電子記録債務の増加5,327百万円、及び短期借入金の増加10,274百万円であります。

d. 固定負債

固定負債は20,525百万円であり、前連結会計年度末比2,600百万円の減少となりました。主な内訳は、長期未払金の減少1,658百万円、長期借入金の減少1,101百万円であります。

e. 純資産

純資産は73,804百万円であり、前連結会計年度末比3,491百万円の増加となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加2,389百万円、為替換算調整勘定の減少1,391百万円、及びその他有価証券評価差額金の増加2,429百万円であります。

②経営成績

a. 売上高

電子機能材セグメント、アルミ銅セグメント、装置材料セグメント、金属加工セグメントの増収により、売上高は157,831百万円（前年同期比7.5%増加）となりました。

b. 売上総利益

電子機能材セグメント、装置材料セグメント、金属加工セグメントの増益により、売上総利益は22,328百万円（前年同期比15.3%増加）となりました。

c. 販売費及び一般管理費

人件費の増加等により、販売費及び一般管理費は14,872百万円（前年同期比6.7%増加）となりました。

d. 営業利益

上記の結果、営業利益は7,456百万円（前年同期比37.5%増加）となりました。

e. 営業外収益、営業外費用

支払利息等により、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は591百万円の支出超となりました（前年同期は67百万円の支出超）。

f. 経常利益

上記の結果、経常利益は6,864百万円（前年同期比28.2%増加）となりました。

g. 特別利益、特別損失

投資有価証券売却益等の特別利益1,069百万円を計上する一方、事業構造改善費用等の特別損失130百万円を計上いたしました。

h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益7,804百万円から、法人税等2,822百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益36百万円を差引き、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,945百万円（前年同期比38.4%増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2025年5月15日の「2025年3月期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,762	21,987
受取手形及び売掛金	57,415	62,069
電子記録債権	5,875	6,881
商品及び製品	46,293	47,259
仕掛品	5,609	6,601
原材料及び貯蔵品	4,594	4,730
その他	6,710	6,100
貸倒引当金	△886	△304
流動資産合計	144,374	155,325
固定資産		
有形固定資産	37,374	38,216
無形固定資産		
のれん	907	764
その他	2,088	1,940
無形固定資産合計	2,995	2,704
投資その他の資産		
投資有価証券	8,577	12,126
その他	5,259	4,553
貸倒引当金	△1,946	△1,812
投資その他の資産合計	11,889	14,867
固定資産合計	52,259	55,788
資産合計	196,634	211,114
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,993	52,048
電子記録債務	6,389	6,661
短期借入金	25,657	35,931
コマーシャル・ペーパー	6,992	4,996
1年内償還予定の社債	250	—
1年内返済予定の長期借入金	5,692	5,681
未払法人税等	2,428	2,025
賞与引当金	1,567	942
株式給付引当金	56	43
役員株式給付引当金	59	—
事業構造改善引当金	459	704
その他	6,650	7,749
流動負債合計	103,196	116,785
固定負債		
長期借入金	15,150	14,048
退職給付に係る負債	901	906
役員退職慰労引当金	350	339
役員株式給付引当金	103	51
事業構造改善引当金	258	22
長期未払金	2,201	543
その他	4,159	4,612
固定負債合計	23,125	20,525
負債合計	126,321	137,310

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,851	5,889
資本剰余金	5,386	5,423
利益剰余金	47,310	49,699
自己株式	△1,562	△1,459
株主資本合計	56,986	59,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,425	4,855
繰延ヘッジ損益	△44	△146
為替換算調整勘定	10,289	8,897
その他の包括利益累計額合計	12,670	13,606
新株予約権	44	38
非支配株主持分	610	605
純資産合計	70,312	73,804
負債純資産合計	196,634	211,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	146,827	157,831
売上原価	127,467	135,502
売上総利益	19,359	22,328
販売費及び一般管理費	13,935	14,872
営業利益	5,424	7,456
営業外収益		
受取利息	116	87
受取配当金	539	367
その他	312	656
営業外収益合計	967	1,112
営業外費用		
支払利息	721	752
為替差損	31	280
デリバティブ評価損	112	359
その他	169	310
営業外費用合計	1,035	1,703
経常利益	5,356	6,864
特別利益		
固定資産売却益	25	442
投資有価証券売却益	398	598
子会社清算益	128	—
その他	31	28
特別利益合計	583	1,069
特別損失		
投資有価証券評価損	64	—
貸倒引当金繰入額	63	—
事業構造改善費用	107	75
その他	36	54
特別損失合計	272	130
税金等調整前四半期純利益	5,666	7,804
法人税等	2,066	2,822
四半期純利益	3,600	4,982
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,574	4,945

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,600	4,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△856	2,429
繰延ヘッジ損益	62	△101
為替換算調整勘定	402	△1,404
その他の包括利益合計	△391	923
四半期包括利益	3,209	5,905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,168	5,881
非支配株主に係る四半期包括利益	40	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	
	商社流通		製造			
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	23,431	62,266	34,378	26,750	146,827	
外部顧客に対する売上高	23,431	62,266	34,378	26,750	146,827	
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,726	867	364	206	3,165	
計	25,158	63,134	34,742	26,956	149,992	
セグメント利益	1,662	615	732	2,350	5,361	

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

中間連結会計期間において、株式会社坂本電機製作所の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「金属加工」のセグメント資産が、2,396百万円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,361
セグメント間取引消去	△5
四半期連結損益計算書の経常利益	5,356

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「金属加工」セグメントにおいて、固定資産の減損損失83百万円を計上しており、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「金属加工」セグメントにおいて、株式の取得により株式会社坂本電機製作所を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては211百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	
	商社流通		製造			
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	28,068	65,140	34,726	29,895	157,831	
外部顧客に対する売上高	28,068	65,140	34,726	29,895	157,831	
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,485	710	478	136	5,811	
計	32,553	65,851	35,205	30,032	163,643	
セグメント利益又は損失(△)	2,432	△207	1,037	3,577	6,839	

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,839
セグメント間取引消去	25
四半期連結損益計算書の経常利益	6,864

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「金属加工」セグメントにおいて、固定資産の減損損失56百万円を計上しており、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,262百万円	3,240百万円
のれんの償却額	245百万円	276百万円